



大庭一郎 Ichiro OHBA
 講師 Assistant Professor
 修士 (図書館情報学) Master of Library and Information Science
 Keywords: 図書館情報学
 Contact: iohba@slis.tsukuba.ac.jp



筑波大学
 University of Tsukuba

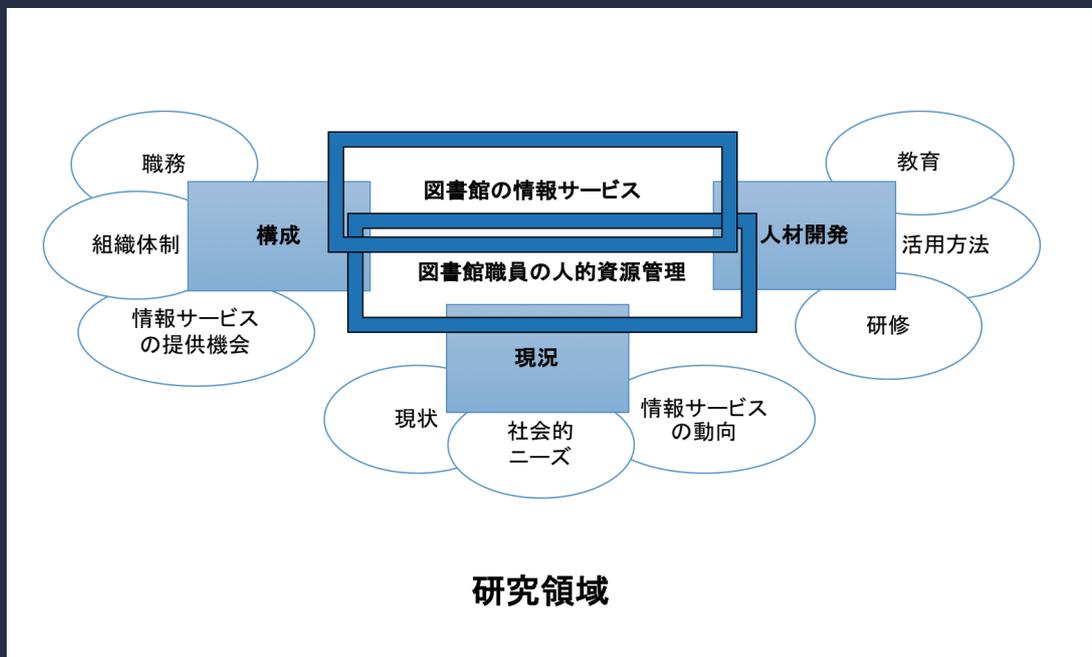
Graduate School of Library, Information and Media Studies

研究概要

情報メディアが社会で円滑に流通し新たな知識を生むためには、図書館等の情報サービスに従事する人的資源の役割が重要です。図書館の情報サービスにかかわる人的資源について、現状、そのあり方、社会的ニーズ、開発方法（養成・能力開発）、活用方法、および、その活動の場としての情報サービスの提供機会や組織体制に焦点を当てて、研究を進めています。研究の出発点として、米国の公共図書館における人的資源管理について、専門的職務と非専門的職務の区分の観点から研究しました。それらの研究を踏

まえて、日本の公共図書館や大学図書館における図書館職員の職務のあり方や養成（教育・研修）について研究しています。図書館職員の人的資源管理の諸問題は、情報サービスの動向や構成方法と連動します。そこで、複数の館種の情報サービスの新たな動向についても研究を進めています。研究指導の領域は、(1) 図書館における各種のサービス、(2) 図書館における情報サービス、(3) 学校教育と生涯学習における各種の読書活動、(4) 図書館職員の養成（教育・研修）です。

www.slis.tsukuba.ac.jp



論文

- 1) 毛利るみこ, 大庭一郎. 日本の公立図書館長に求められる能力に関する調査. 図書館界. vol.68, no.6, 2017.3, p.400-418.
- 2) 毛利るみこ, 大庭一郎. 日本の公立図書館長に求められる能力. 図書館界. vol.66, no.5, 2015.1, p.326-342.
- 3) 大庭一郎. 日本図書館協会と図書館問題研究会の職務区分表：日本の公共図書館における専門的職務と非専門的職務の分離の試み. 図書館界. vol.54, no.4, 2002.11, p.184-197.
- 4) 大庭一郎. 『大学図書館の業務分析』：日本の大学図書館における専門的職務と非専門的職務の分離の試み. 図書館学会年報. vol.44, no.1, 1998.3, p.32-48.
- 5) 大庭一郎. 米国の公共図書館における専門的職務と非専門的職務の分離：1920年代から1950年代までを中心に. 図書館学会年報. vol.40, no.1, 1994.3, p.11-39.

社会貢献活動

研究成果を応用して、図書館職員の養成（教育・研修）に取り組んでいます。2011年以降、NPO 法人大学図書館支援機構（略称 IAAL）の IAAL 認定試験運営委員会の委員として、「IAAL 大学図書館業務実務能力認定試験」の設計・開発・実施に携わっています。学内では、2004年からは、学部生・院生対象の「公務員試験準備講座（教養模擬試験）」（隔週水曜・年22回開催）を開発・実施し、公務員・図書館系の進路志望者を社会に輩出しています。

メッセージ

大学の専門課程で情報学（図書館情報学）を専攻し、「記録による知識共有の重要性」を理解し、「知識共有の技術」を学んだ人は、図書館で働く司書にもなれますが、現代社会の様々な職場で「記録による知識共有」を担う人材として幅広く活躍できます。情報学の学びには、高校卒業と同時に大学に入学して専門課程で学ぶ進路だけでなく、3年次編入学、大学院博士前期課程（修士課程）入学、大学院博士後期課程（博士課程）入学のような多様な進路が整備されています。

関連情報サイト

- 1) <http://www.tsukuba.ac.jp/notes/056/index.html>
- 2) https://klis.tsukuba.ac.jp/assets/files/KLIS_TODAY_No9.pdf
- 3) <http://hdl.handle.net/2241/89592>